

令和5年10月（第7回）教育研究評議会議事要旨

日時 令和5年10月18日（水）13:30～14:25
場所 ウェブ会議システム「Microsoft Teams」を利用
出席者 31/39
欠席者 狩野副理事・薬学部長（小野大学院医歯薬学総合研究科薬学系長代理出席）、
佐藤（吾）副理事、林副理事、綾野副理事、加賀副学長、横井副学長、高瀬
教育学研究科長、豊岡医学部長

○ 前回議事要旨の確認

令和5年9月開催（第6回）の議事要旨について、原案のとおり確認された。

○ 議 事

1 審議事項

（1）諸規則の改正について

三村理事から、資料1に基づき、以下の規則の一部改正について、改正内容と改正理由の説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

【規則】

① 岡山大学における部局長の任命等に関する規則

- ・ 適任候補者の推薦について、実情に合わせるため。
- ・ その他規定の整備のため。

（2）岡山大学研究ポリシーの改正について（案）

学長の指名により、佐藤（法）副理事から、資料2に基づき、岡山大学研究ポリシーの改正について、昨今の大学や研究環境などを取り巻く状況の変化に対処するために、イノベーション、人材育成、研究インテグリティ、生成系AIなどの項目及び大学組織内の人材配置や研究環境、特に推進する分野（最重点研究分野）の内容を記載した改正案の提案があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

なお、学長から他ポリシーについても見直しを行い、改めて行動指針としたい旨の発言があった。

また、評議員から、研究ポリシーとは別に、オープンサイエンスの観点から研究データポリシーを策定している大学があることの情報提供があった。

本件については、10月の役員会で審議することとなった。

（3）国立大学法人岡山大学における地球温暖化対策に関する実施基本計画の改正について

袖山理事から、資料3に基づき、「国立大学法人岡山大学地球温暖化対策に関する実施基本計画」の改正について、本学は令和6年度概算要求（国立大学法人等施設整備費）において「カーボンニュートラルに先導的に取り組んでいると評価された法人」として評価されていること、また、今回の評価にあたり、文部科学省から、定量的な目標については、政府目標（地球温暖化対策計画、政府実行計画等）を上回るこ

とが条件とされていることの説明があった。

続けて、改正案のポイントとして、本学から排出するエネルギー起源の二酸化炭素の総排出量を2013年度を基準として、2030年度までに51%以上削減すること、今後予定する新增改築・大規模改修事業については原則Nearly ZEB相当となることを目指すこと等の説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

なお、本件については、10月の役員会で審議することとなった。

(4) 外国人留学生に対する授業料等の不徴収について

鈴木副学長から、資料4に基づき、外国人留学生に対する授業料等の不徴収について、大学院教育学研究科とインドネシア教育大学数学・自然科学教育学部（修士課程）間の大学間協定において、教育学研究科長から、当該外国人留学生に対する授業料等を不徴収とすることとしたい旨の申請があったため、「岡山大学における外国人留学生に対する授業料等の不徴収取扱要項（平成29年学長裁定）」及び「岡山大学における外国人留学生に対する授業料等の不徴収プログラム申請のためのガイドライン（平成29年役員政策会議承認）」に基づき、グローバル人材育成院運営委員会で検討した結果、申請のとおり承認されたこと、併せて、これに伴い前述の要項の別表を更新することとしたい旨の説明及び提案があり、審議の結果、承認された。

2 報告事項

(1) 岡山大学の女性教員登用に関する目標と計画について

三村理事の指名により、井上男女共同参画室長から、岡山大学の女性教員登用に関する目標と計画について、令和10年度末までに達成する8つの目標値を掲げたこと、目標達成のための行動計画として、執行部が中心となって行う事項、部局が主体となって行う事項、男女共同参画室が中心となって行う事項について報告があった。

3 その他

(1) 次回開催日について

今回は、11月22日（水）13時30分から開催することとなった。

以上